

## 令和 8 年度 第 1 回 あすならハイツ恋の窪 安心ケアシステム

### 介護医療連携推進会議 議事録

(定期巡回・医療連携推進会議 ・ サポートハウス家族懇話会 合同開催)

#### 1. 開催概要

日時: 令和 8 年 7 月 16 日(木) 10:45 ~ 11:00

場所: あすならハイツ恋の窪 1 階サロン

出席者:

ご入居者様・ご家族様: ■様、■様、■様、■様

三笠地域包括支援センター: ■様

当施設職員: 仲村(施設長)、山村(小多機管理者)、増田(定期巡回管理者)、城山(サ高住事務)、山尾(進行・議事録)

#### 2. 地域貢献活動の報告(全体)

多世代交流: 「子ども広場」は週 3 回開催し、平均 7 名の児童が参加。地域住民向けの「あすならサロン」や「ユニバーサル就労(障害者等支援)」、さらに「クールスポット」としての開放など、地域に根ざした活動を継続しています。

連携強化: 1 階事務所を統合・再配置し、ケアマネジャーと現場スタッフが即座に連携できる体制を構築しました。

#### 3. 事業運営報告(定期巡回)

24 時間 365 日の安心を支えるため、医療連携と ICT 活用による迅速な対応を強化しています。

利用状況と医療ニーズ: 登録者 52 名。要介護 1・2 の軽度の方から、看取り(2 名実績)や在宅酸素、褥瘡処置、点滴管理が必要な重度の方まで幅広く対応しています。

ICT(MCS)による医療連携: 医療介護連携専用 SNS「MCS」を活用。看護師が

撮影した皮膚の状態や体調の変化を主治医へ即座に共有し、指示を仰ぐ体制を構築。緊急時は電話連絡により、迅速な往診・処置に繋がっています。

随時対応・救急搬送事例の共有：

事例 1：TV 電話呼び出しに応答がなかった際、異常を察知し即座に訪問。転倒を発見し、早期救護に繋がりました。

事例 2：自覚症状のない利用者様の酸素飽和度(SpO2)低下を看護師が察知。主治医と連携し、迅速に緊急搬送・入院手配を行い、重症化を未然に防ぎました。

退院支援・環境調査：病院での退院前カンファレンスにヘルパー、看護師、理学療法士が同席。自宅の段差や手すりの状況を調査し、安心して在宅復帰できるよう環境を整えています。

安全対策(事故防止)：車いすのブレーキかけ忘れ防止プレートを作成。職員間でヒヤリハットを共有し、立ち上がり時に自動でブレーキがかかる車いすの導入提案も行っています。

#### 4. 事業運営報告(ベースサービス:サポートハウス)

入居・職員体制：39 室満室。8 月よりスタッフの 2・3 階訪問時の「腕章着用」を開始し、識別を容易にします。職員紹介写真も 1 階に集約。

行事報告：3 月の「春祭り」・放課後デイの子どもたちの踊り発表等。

今後の予定として、

7/22 コーヒー企画

8/26「走るデパ地下(移動販売)」

月 1～2 回の映画上映会を報告。

衛生・設備：2 月の胃腸炎騒動の振り返りと、ご家族への体調不良時の早期報告依頼。1 階自販機の好評状況と管理体制について説明しました。

## 5. 質疑応答・意見交換

生活の質：訪問歯科による口腔ケア、買い物気分を味わえる移動販売の活用、出前や宅配の部屋への配達ルール(不在時は受付預かり)などを再確認しました。

屋上活用：屋上スペースの活用について、入居者・家族の皆様から広くアイデアを募集することといたしました。

## 次回開催予定

定期巡回 連携推進会議：令和 9 年 1 月 21 日(木) 10:30

小規模多機能 運営推進会議：令和 8 年 9 月 17 日(木) 10:30

懇話会：令和 8 年 10 月 1 日(木) 10:30